

公営交通への自動運転バスの実装に向けた実証実験業務受託候補者選定審査基準

1 審査項目

企画提案内容について、以下の視点から総合的に審査し、5段階で評価する。

| 評価項目 | 評価の着目点 |
|--------------------|--|
| 企画内容 (60点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 業務の目的及び内容を十分に理解し、提案者の知見等を活かした提案内容になっているか ・ 実証実験の準備から実施に至る各ステップや工程管理、スケジュールが、具体的かつ現実的なものとして構築されているか ・ レベル4実装の早期実現及びその後の社会実装に向けたロードマップが具体的、かつ技術的・制度的観点から実現可能性の高い計画となっているか ・ 本市が指定する車両（いすゞ・エルガミオ）の仕様を踏まえ、実用性及び拡張性の高い自動運転システムへの改造計画が技術的観点から適正に示されているか ・ 自動運転バスの走行挙動ならびに周囲の道路利用者（自動車、二輪車、自転車、歩行者）の状態を常時モニタリング、記録し、ヒヤリハット（交通錯綜）の分析を行い、自動運転バスの制御システム等へフィードバックを行う仕組みが示されているか ・ 走行時の乗客の安全性確保に向けた運用体制やリスクマネジメント（事前のリスク要因分析・対策及び、事故発生時の報告・要因分析と対策立案のプロセス）及び最新のガイドライン等に準拠したサイバーセキュリティ対策が適切・明確に講じられているか ・ 試乗会、地域公共交通会議、広報等を通じて市民の理解と社会受容性（自動運転バスの導入、自動運転技術についての地域理解、利用定着化のこと）を効果的に醸成する手法が提案されているか |
| 業務実績 (10点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 乗車定員11名以上のバス形状の車両で自動運転レベル2及びレベル4での国内の公道（一般の用に供される道路）を走行した、自動運転実証実験での実施主体または車両制御に関する業務実績、経験を有している ・ 乗車定員11名以上のバス形状の車両で緑ナンバーを取得し、自動運転レベル4での運行の業務実績、経験を有している |
| 業務実施体制 (10点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 緊急時対応を含む、本業務の遂行に必要な体制が構築されているか ・ 本店、支店の所在地が京都市内であるか |
| 見積経費 (10点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 委託上限額に応じた受託金額であるか |
| プレゼンテーション力 (5点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 提案内容を明確に説明しているか。審査委員の質問に対して的確に回答しているか |
| その他 (5点) | <ul style="list-style-type: none"> ・ 仕様書で要求する項目以外に、特筆すべき事項又は有効な提案があるか |

2 審査方法

- (1) 合計500点（100点満点×5審査員）とする。
- (2) 合計点が一番高い者を業務受託候補者とする。
- (3) 同点の場合は委員長が選考する。